

【資料 5】

宝塚市^{がい}障害福祉人材確保協議会

報告書

< 概要 >

宝塚市 ^{がい}障害福祉課

令和 7 年(2025 年)8 月

1. 協議会の目的と背景

障害福祉分野では、職員不足による全国的な求人募集が続いている。地域生活支援拠点等の機能として「専門的人材の確保・養成」が位置づけられており、市として人材確保・定着について非常に重要な課題であることを認識し、自立支援協議会全体会にて報告を行っていた。このような背景から、障害福祉人材の確保と定着に向けた具体的な方策を検討することを目的として本協議会を設置した。特に夜間における介護職員の不足が顕著な課題となっていると考え、障害者入所施設の現状について検討した。

2. 協議会の開催とアンケート調査について

協議会は、市内の障害者入所施設の代表者および学識経験者を委員として令和6年11月から令和7年8月まで全5回開催した。また、市内の障害者入所施設で働く介護職員を対象にアンケートを行った。

3. 本市の現状と課題

(1) 人材確保に関する課題

- 福祉分野の労働力不足と希望者の減少
- 福祉分野でのイメージの定着
- 外国人労働者の確保の困難さ
- 介護度の増加と労働力不足

(2) 人材定着に関する課題(アンケート結果から)

- 夜勤の負担とシフト調整の遅さ
- 仕事の継続に対する不安

(3) 地域連携と情報発信の課題

- 福祉を知る機会の不足
- 「オール宝塚」での取組の必要性

4. 人材確保・定着に向けた施策案

(1) 魅力発信と興味喚起

- SNS を活用した情報発信
- 学校との連携
- 地域住民へのアピール
- 現場職員による説明会
- 企業とのコラボレーション

(2) 働きやすい職場環境の整備

- 良好な人間関係・風通しの良い職場風土の構築
- 賃金水準の改善と福利厚生充実
- 休暇・残業の負担軽減と適正な人員配置
- ICT・AI の活用推進
- 管理職の研修受講による技術向上

(3) キャリアアップ支援と将来の安心感

- 研修受講・資格取得の支援
- キャリアパスの明確化
- 中堅職員への支援

(4) その他

- 外国人技能実習制度の活用
- データ活用による実態把握
- 先進事例の学習

5. 今後の展望

本協議会で議論された施策案を具体化し、実行に移していくことで、宝塚市における^{がい}障害福祉人材確保と定着を促進し、質の高い福祉サービスの提供に繋げていくことを目指す。特に、中堅職員の定着を重点課題とし、横の連携強化や研修を実施するなど、直接支援の検討を進めていく。

一方で、アンケートにて施設の介護職員を対象に実施した結果、中堅職員の定着が課題となったが、他のサービス種別の場合も同様かは引き続き検討する必要がある。